

子育て支援計画(進行管理対象事業)の進捗状況について

1 子どもの健やかな成長

○ 子どもや家庭の健康の確保

(1) 母親・両親学級

各教室とも、より産後の生活についてイメージができるよう、アンケートをもとにプログラムの変更・調整を行った。両親学級は妊娠週数と参加希望開催日調整をすることで、希望者がもれなく教室に参加できた。今後も妊娠・出産・育児の不安解消と支援に努めていく。(実績報告 P.9 事業番号 1-1-2)

(2) 栄養指導講習会

ライフステージに応じた栄養指導の一環として、妊婦や乳幼児、子育てを支える方を対象とした栄養指導講習会を開催し、食を通じた健康づくりに関する知識と技術を伝達した。今後も様々な講習会等を実施していくとともに、保健サービスセンター内外での地域の栄養相談を充実させていく。(実績報告 P.10 事業番号 1-1-11)

○ 児童虐待防止策の充実

(1) 児童虐待防止ネットワークの充実

児童虐待防止のため、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関相互の連携を図り、児童虐待の情報交換・状況把握に努めた。また、関係機関用の児童虐待防止マニュアルの改訂や講演会等により、啓発活動を行った。今後も複雑化する子育て家庭の問題に対応していくため、関係機関との連携を図り、子どもと家族の支援を推進していく。(実績報告 P.11 事業番号 1-2-2)

(2) 乳幼児家庭支援保健事業

4 か月児検診受診者の支援検討会を実施し、支援を必要とされた人への支援を実施した。保健サービスセンター事業や保健師の支援のほか、子ども家庭支援センター、医療機関、婦人相談員など、対象者に必要と思われる支援につなぐことができた。今後も引き続き、支援・連携体制の強化を図り虐待の予防に努めていく。(実績報告 P.11 事業番号 1-2-3)

2 子どもの生きる力、豊かな心の育成

○ 青少年の健全育成

(1) 放課後全児童向け事業

28 年度から新たに指ヶ谷小学校、根津小学校、青柳小学校、金富小学校において事業を開始し、事業実施校は計 8 校となった。また、28 年度は 8 校で延べ 1,468 日実施し、延べ参加児童数は 63,217 人となった。今後は 31 年度までに全区立小学校での事業実施を目指す。(実績報告 P.12 事業番号 2-1-2)

(2) 中高生の居場所の確保 (b-1ab (文京区青少年プラザ) 等)

開設 2 年目を迎えた b-lab では、文化・スポーツ、学習支援等の事業を実施するとともに、出張 b-lab 等の訪問事業を実施した。また、広報誌を年 2 回発行するなどの広報活動等により、初年度に続き、目標利用者数を超える実績となった。今後も中高生が各事業に企画段階から参画することを通して、自主性・社会性を育み、居場所としての充実を図る。(実績報告 P. 13 事業番号 2-1-4)

(3) ひきこもり等の自立支援

事業開始から 3 年目となり、ひきこもり等の状態にある本人からの相談が増加する中、相談事業（電話・来所・メール）に加え、居場所事業、社会経験を積むための段階的なプログラム、講演会、茶話会等を実施した。また、ひきこもり等自立支援事業関係機関連絡会を 4 回開催し、個別ケースについて情報共有を図った。引き続き事業周知を図るとともに、本人の社会参加に繋がる段階的な支援を行う。(実績報告 P. 14 事業番号 2-1-5)

○ **子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備**

(1) 学校施設の整備

改築について、誠之小学校は基本・実施設計を完了させ、明化小学校及び柳町小学校は、改築基本構想策定の後、基本・実施設計に着手した。また、老朽度合い等により計画的に湯島小学校の校庭改修、茗台中学校の給食室整備、根津小学校・第九中学校の外壁・サッシ改修を実施した。今後も教育環境の向上に向け、計画的な改修・整備を実施していく。(実績報告 P. 15 事業番号 2-2-7)

3 地域における子育て支援

○ **地域との協働・活動支援**

(1) 文京区子育てサポーター認定制度

貞静学園短期大学等の協力を得て、研修を 2 回実施し、42 人の子育てサポーターを認定した。ハッピーシッター事業を見直し、今後、スタンダードサポーター認定者を対象に、子ども・子育て支援新制度の子育て支援員専門研修のカリキュラムを取り入れた「エキスパート研修」を実施し、ファミリー・サポート・センター事業のサービス範囲の拡充を図っていく。(実績報告 P. 16 事業番号 3-1-2)

○ **健全育成活動への支援**

(1) 青少年の社会参加と青年育成事業の推進

青少年が社会性を身につけるとともに、地域社会で活動するための知識等を得る機会をより多く提供するため、青少年の社会参加推進事業（7 事業）及び青年育成事業（4 事業）の経費の一部について補助を行い、NPO 等の特性を活かした事業や青年自らが企画・運営を行う事業が実施された。今後も申請実績のない NPO 等にも情報が行き届くよう周知方法の充実を図りながら、事業に対する補助を行う。(実績報告 P. 19 事業番号 3-3-2)

4 すべての子育て家庭への支援

○ 保育の充実

(1) 安心・安全なシッターサービスの提供

利用件数が対前年比約 50%の増となり、保護者の子育て及び就労の両立を支援することができた。また、利用者アンケート結果で、87%が総合的に満足していると回答している。今後も利用者アンケートを継続的に実施し、ニーズの把握を行い、区が指定する事業者との情報共有を図ることで質の確保を図っていく。(実績報告 P. 20 事業番号 4-1-1)

(2) 区立幼稚園の定員拡充

新たに第一幼稚園に 3 歳児クラスを設けるとともに、千駄木幼稚園では 3 歳児クラスを増設し、保護者ニーズの高い 3 歳児の定員拡充を図った。今後も定員の空き状況の周知を図るなど、定員枠の有効利用につなげていく。(実績報告 P. 21 事業番号 4-1-3)

(3) 区立幼稚園の認定こども園化

文京区区立幼稚園の認定こども園化検討委員会において、区立幼稚園の認定こども園化について検討を行った。その報告を踏まえ、柳町こどもの森(柳町幼稚園及び柳町保育園)及び明化幼稚園の認定こども園化を教育委員会において決定した。両園とも改築に伴う新施設開設時(工事期間等で前後するが、平成 33 年～35 年頃を予定)に認定こども園となる予定である。(実績報告 P. 21 事業番号 4-1-5)

(4) 地域型保育事業

小規模保育所を 1 施設開設し、保育サービスの量的拡大を図った。また、居宅訪問型保育事業についても、29 年 4 月から制度導入を行った。引き続き、事業所内保育事業についても整備に向けた検討を行う。(実績報告 P. 23 事業番号 4-1-9)

(5) 区立幼稚園の預かり保育

新たに早朝の時間帯における預かり保育を開始し、必要に応じて利用できる一時預かり保育の利用枠を別途確保することで、あらゆる保育ニーズに応えられる体制を整えた。また、長期休業期間中における預かり保育の利用条件を緩和し、短時間就労の方も利用できる環境を整え、保護者の利便性を向上させた。今後も新たな利用要件の周知等により利用率の向上を図っていく。(実績報告 P. 26 事業番号 4-1-14)

(6) 私立認可保育所の整備拡充

保育所待機児童の状況を踏まえながら、私立認可保育所を 6 施設開設することで、保育サービスの量的拡大を図った。また、保育の質・安全確保を図るため、新規開設園に対して重点的に巡回指導を行った。(実績報告 P. 27 事業番号 4-1-17)

(7) 育成室の整備及び運営

29 年 4 月に新設する汐見第二育成室、湯島小学校育成室、誠之育成室の開設準備を行った。また、指導員及び非常勤職員を対象とした研修を 6 回実施し、保育の質の向上を図った。引き続き、育成室の充実や整備拡充を行う。(実績報告 P. 28 事業番号 4-1-19)

(8) 民間事業者誘致による小学生の受入れ

29 年 4 月から民間学童クラブを開設するよう、区内への誘致を 1 ヶ所(ベネッセ学童ク

ラブ音羽) 行い、施設整備にかかる経費の一部に対する補助を実施した。また、29年度から施設の運営に関する経費の一部についても補助を始めるため、要綱等の整備等、準備を行った。(実績報告 P. 28 事業番号 4-1-20)

(9) 子育て短期支援事業

夜間(17時～22時)のトワイライトステイ事業も新たに始め、保護者の子育て及び就労の両立を支援するとともに、子ども家庭支援センターと連携し、育児疲れ等の一時的な休養を必要とする家庭を支援した。今後も関係機関との円滑なコミュニケーションを図ることで、利用者の緊急時の受入れ等スムーズな対応を行っていく。(実績報告 P. 29 事業番号 4-1-23)

○ **子育てに伴う心理的負担の軽減**

(1) 子育てひろば事業

28年4月から子育てひろば汐見と子育てひろば江戸川橋で日曜開館をスタートし、利便性の向上を図った。今後も日曜開館の周知をはじめ、魅力的な講習会の実施など、事業の充実を図る。(実績報告 P. 30 事業番号 4-2-2)

○ **仕事と生活の調和に向けた啓発**

(1) 男女平等参画推進事業

雇用や就労、ハラスメント対策、女性の活躍促進に係るセミナーを都労働センターと共催したほか、UN Women 日本事務所や区内大学、NPO、警察、企業と連携し、暴力の根絶や女性の日の啓発促進事業を行った。今後も引き続きセミナー等で継続的に学習の機会を設けると共に、男性の参加を増やすことを目指していく。(実績報告 P. 31 事業番号 4-5-1)

5 子どもを守る安全・安心なまちづくり

○ **青少年のための地域環境の整備**

(1) 非行防止・更生保護の推進

7月の強調月間に、推進委員会を中心に社会を明るくする運動を実施した。東京ドーム周辺広報啓発活動では運動の趣旨を呼びかけ、文京区社会を明るくする大会では中学生の意見発表及び区内学生の活動発表を行い、文京矯正展では刑務作業製品の展示販売を行い、犯罪や非行防止・更生保護についての啓発を図った。今後も広報啓発活動を継続して行うなど、犯罪や非行のない明るい社会の構築に取り組む。(実績報告 P. 32 事業番号 5-1-1)

○ **児童の安全の確保**

(1) 安全・安心なまちづくり

防犯対策を推進する地区として、新たに6地区を指定した。また、9つの推進地区に対して、防犯カメラの設置費用の助成を行った。通学時間帯や夜間に区内を自動車で巡回する青色防犯パトロール隊3団体に対し燃料費の助成を行ったほか、安全・安心まちづくり活動を行う3団体に対しパトロール資器材等の貸し出し、購入費用の助成を行った。「文の京」安心・防災メールの防犯等安心情報は149件配信した。引き続き活動支援や情報配信を行い、区民に注意喚起を行う。(実績報告 P. 33 事業番号 5-3-2)